

報道関係者様各位

2024年10月吉日

## 内閣府主催「SIP/BRIDGEフォーラム」 メディア説明会開催のお知らせ

拝啓、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

平成26年度に始まった「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」は、昨年度より第3期が開始いたしました。※これまでの10年間にわたるSIPの実績はP3参照

今年度、内閣府主催で革新的な技術開発と社会実装を推進するための「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」および「研究開発とSociety5.0との橋渡しプログラム（BRIDGE）」プロジェクトの普及に向けたフォーラムを開催いたします。本フォーラムでは、特にメディアの皆様に向けたメディア説明会を実施し、SIP及びBRIDGEの最新の取り組みや、それが社会に与える意義について詳しくご紹介いたします。

メディア説明会は以下の2つのブースより構成されており、メディアの皆様が自由に意見交換や取材が行える場をご用意しております。  
(※詳細は裏面のブースイメージををご参照ください)

### ① 個別テーマブース

SIP/BRIDGEの各取り組みをトレンドテーマごとにグルーピングし、メディアの皆様が興味をお持ちのテーマのプログラムディレクター（PD）を複数同時取材できるようにしております。

### ② メディア用撮影ブース

撮影にご協力いただけるPDが模擬実験や成果報告をご紹介します。メディアの皆様専用のブースですので、ぜひ取材の材料としてご利用ください。

ご多忙中とは存じますが、ぜひともご取材を賜りたく、ご案内申し上げます。

敬具

記

- 1 日 時 2024年11月27日（水）  
13時00分から14時00分
- 2 場 所 三井ホール&カンファレンス 3F 会議室A,B  
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目2-番1号 COREDO室町テラス
- 3 参加費 無料
- 4 参加方法 下記URLまたはQRコードより参加登録をお願いいたします。



参加登録はこちら  
(無料)



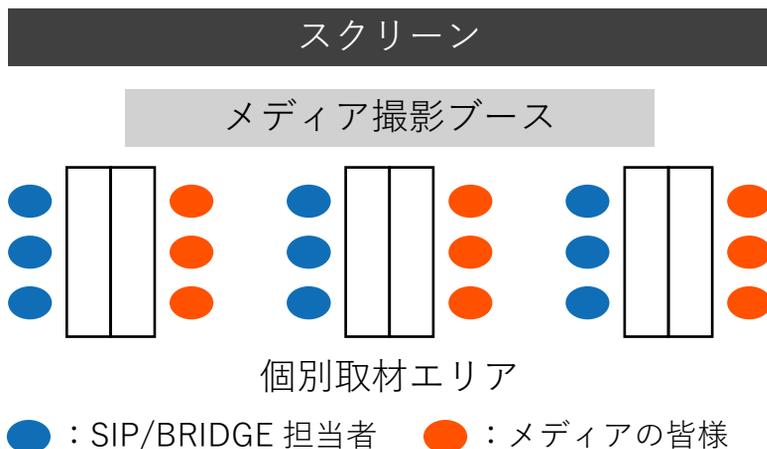
SIP/BRIDGE フォーラム  
Webサイト

〈本件についてのお問い合わせ先〉

内閣府 SIP/BRIDGE窓口

[info\\_sip-bridge-forum@nri.co.jp](mailto:info_sip-bridge-forum@nri.co.jp)

## メディア説明会 - 会場レイアウトイメージ -



メディア説明会の会場では、SIP/BRIDGEの各課題/施策の取組について意見交換や取材ができるよう、個別取材エリアを設けております。

また、スクリーン前に内閣府及びSIP/BRIDGEロゴのバックパネルをご用意させていただきますので、その前での撮影もご自由に行っていただくことが可能です。

## SIP第3期及びBRIDGEにおける取組紹介（一部抜粋）

### # スマートシティ

- ・スマートエネルギーマネジメントシステムの構築
- ・スマートインフラマネジメントシステムの構築
- ・スマートモビリティプラットフォームの構築

### # 環境問題・ESG

- ・サーキュラーエコノミーシステムの構築
- ・海洋安全保障プラットフォームの構築
- ・生物多様性と農業生産を脅かす侵略的外来種の根絶技術の開発
- ・金融/投資機関による自然関連情報開示促進と国際標準化を前提としたネイチャーフットプリントの開発と実証事業

### # 地域・自治体

- ・スマート防災ネットワークの構築
- ・革新的な統合気象データを用いた洪水予測の高精度化

### # 基盤技術

- ・人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術
  - ・ルールの整備
- ・バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術
  - ・ルールの整備
- ・先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進

### # ヘルスケア・リスクリング

- ・統合型ヘルスケアシステムの構築
- ・包摂的コミュニティプラットフォームの構築
- ・ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築

### # スタートアップ

- ・マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築
- ・AI農業社会実装プロジェクト

SIP/BRIDGEのHPはこちら

<https://www.sip.go.jp/>

SIP第3期の課題一覧はこちら

[https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/sip3rd\\_list.html](https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/sip3rd_list.html)

BRIDGEの施策一覧はこちら

<https://www8.cao.go.jp/cstp/bridge/index.html>

## メディア説明会\_参加者一覧

SIP課題名/BRIDGE施策名		参加者	
S I P	豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築	株式会社博報堂 テーマビジネスデザイン局 ビジネスプロデューサー	南部 哲宏 氏
		株式会社キャクシヨク代表取締役	加藤 裕一 氏
	マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築	ユニバーサルマテリアルズインキュベーター株式会社代表取締役パートナー	木場 祥介 氏
	スマートエネルギーマネジメントシステムの構築	岐阜大学高等研究院 特任教授／（一財）電力中央研究所 研究アドバイザー／東京工業大学 科学技術創成研究院 特任教授	浅野 浩志 氏
	スマートインフラマネジメントシステムの構築	東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター（IMC）センター長	久田 真 氏
	スマートモビリティプラットフォームの構築	筑波大学名誉教授	石田 東生 氏
	海洋安全保障プラットフォームの構築	日本CCS調査株式会社 顧問	石井 正一 氏
		海洋研究開発機構 特任技術統括	東 垣 氏
	セキュラーエコノミーシステムの構築	東京大学 特別教授／物質・材料研究機構 フェロー	伊藤 耕三 氏
		独立行政法人環境再生保全機構 理事	福山 賢一 氏
	人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備	筑波大学 システム情報系教授／サイバニクス研究センター 研究統括／未来社会工学開発研究センター センター長 兼 CYBERDYNE 株式会社 代表取締役社長・CEO	山海 嘉之 氏
	バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備	国立研究開発法人産業技術総合研究所フェロー兼人間拡張研究センター長	持丸 正明 氏
	先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進	日本電信電話株式会社 先端技術総合研究所 常務理事 基礎・先端研究プリンシパル	寒川 哲臣 氏
	統合型ヘルスケアシステムの構築	自治医科大学学長、東京大学名誉教授、宮内庁皇室医務主管	永井 良三 氏
	包摂的コミュニティプラットフォームの構築	BACeLL法律会計事務所 代表弁護士・公認会計士	石田 恵美 氏
ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築	三重大学大学院地域イノベーション学研究科 教授／三重大学 特命副学長（戦略企画担当）／宇都宮大学学術院 教授／宇都宮大学 特命副学長	西村 訓弘 氏	
スマート防災ネットワークの構築	東京大学 地震研究所災害科学系研究部門・部門長 教授	楠 浩一 氏	
B R I D G E	生物多様性と農業生産を脅かす侵略的外来種の根絶技術の開発	農研機構 農業環境研究部門 農業生態系管理研究領域長	大久保 悟 氏
	革新的な統合気象データを用いた洪水予測の高精度化	九州大学 総合理工学研究院 教授	杉原 裕司 氏
		英弘精機株式会社 Project推進部 部長	手柴 充博 氏
	AI農業社会実装プロジェクト	農研機構 基盤技術研究本部 農業情報研究センター 副センター長	川村 隆浩 氏
		農研機構 本部広報部 広報課 主席研究員	高木 英典 氏
金融/投資機関による自然関連情報開示促進と国際標準化を前提としたネイチャーフットプリントの開発と実証事業	早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 環境資源工学科 教授	伊坪 徳宏 氏	

## SIPのこれまでの実績（一部抜粋）

## 高精度3次元地図を含むダイナミックマップ

第1期

第2期



## 自動走行システム,自動運転（システムとサービスの拡張）

SIPを通して、自動運転に必要な高精度3次元地図を含むダイナミックマップの統一仕様を業界横断的に策定。

実証実験による有効性を検証し、ダイナミックマップ基盤株式会社（DMP社）を設立し、自動運転向けの高精度地図を構築。

## SIP成果を国・地方自治体等で活用し、防災・減災への貢献

第1期

第2期

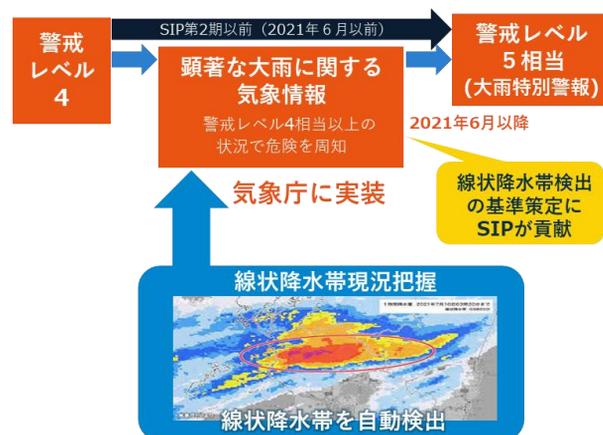
## レジリエントな防災・減災機能の強化

災害情報を多組織間で共有するシステムを開発し、被災状況の把握、ライフラインの復旧等に活用



## 国家レジリエンス（防災・減災）の強化

線状降水帯自動検出技術を開発し、気象庁の顕著な大雨に関する気象情報に実装。気象情報に貢献



## 世界的に注目されるアンモニア燃焼でCO2排出削減に貢献

第1期



碧南火力発電所（愛知県碧南市）

## エネルギーキャリア（アンモニア燃焼）

SIPを通してアンモニア燃焼による発電技術を確立。

SIPの参加企業等により、一般社団法人クリーン燃料アンモニア協会（CFAA）を設立し、火力発電所においてアンモニア20%混焼（熱量比）の実証を進めており、2027年の商業化を目指す。

その他の成果についてははこちら

<https://www.sip.go.jp/2022/assets/pdf/pamphlet.pdf>